



政治のホンマを伝えるチラシ

月刊レオナンドス通信

www.nakanishireo.com/ 平成23年1月号 発行:中西レオ応援団

中心市街地活性化の要は明石港

中心市街地活性化について、明石市はプロジェクト部を作って取り組み、昨年11月30日に計画が国の認定を受けました。ダイエー跡地を含んだ明石駅前再開発に関心が集まりがちですが、明石港の再整備はそれ以上に重要です。

たこフェリー乗り場と市役所の間には、船から砂利を降ろし、一時的に積んでおく場所があります。これについて、移転や跡地の利用方法などについて長年議論が交わされてきました。

このたび国に認定された計画では、「明石港再整備計画の策定」が盛り込まれており、今から5年の間に、どのように明石港を再整備するかを決めることとなります。

砂利揚場を卸売市場に!!

検討するタイミング

一方、明石市公設卸売市場(藤江)は建設から33年が経ち、移転・建て替えの検討が必要です。いずれ建て替えるのであれば、卸売市場の他に水産物分場(本町)や、漁業組合で開催されている取り引きを明石港に集約するべきでしょう。

ハコモノ行政は終焉の時代ですが、市が公設市場を抱える以上、建て替えの期に更なる好立地に移転することは有益な投資と考えます。



明石駅から800mの好立地は観光振興の起爆剤になり得る

明石最大の課題は資源の活用

明石市は多くの地域資源に恵まれた街です。しかし、それは活かされ、市民の誇りになっているとは言えません。今後の明石市は、歴史・文化・自然・人といった資源の活かし方が問われています。

これからの市役所は、職員を減らすのと同様に権限も減らす必要があります。公的サービスを自分たちで担いたい地域に委ねることで、地域に金銭メリットと、高い満足を提供します。

大蔵海岸をスポーツパークに!!

失敗ですが、作られました

290億円もの事業費(補助金、国の事業含む)で開発された大蔵海岸ですが、土地を売って事業費に充てるという計画は完全に失敗し、明石市の借金も未だに87億円残っています。(これを年間6千万円ずつ返済しています)失敗とはいえ、土地があるのですから、これから活用する手立てを考えましょう。

提案お待ちしております

「大蔵海岸の西側駐車場(スポーツ用品店の北、市営)がガラガラなので、バスケットボールができるコートを作って欲しい」「フットサルができる場所が欲しい」「ダンスの練習をする場所がない」という意見をいただきました。

大蔵海岸では、ビーチバレーやフライングディスクのイベントが開催されたこともあり、スポーツパークとして活用することは有意義でしょう。

大きな競技場を一つ作るよりも、気軽にスポーツを楽しめる場所を作りたいですね。

市民からの「〇〇をしたいから作って欲しい」という声は、「〇〇したらきっと人が来る」という意見よりも強力です。強力な意見が増えると、役所も議会も推進することができます。是非、ご意見・ご提案を役所と中西レオに送ってください。

明石市
議会議員

中西レオの活動報告